

# 科佳園果

令和8年度【第1号】  
2026年4月1日発行  
八頭町役場商工観光室  
(0858-72-0144)

—八頭町地域おこし協力隊活動の現場から—

## 協力隊卒業にあたって

八頭町に移り住み、地域おこし協力隊として過ごした3年間。着任当初は分からないことだらけで、地域の空気に馴染むことだけでも精一杯でした。それでも声をかけてくださる方、見守ってくださる方、時には厳しくも温かく関わってくださる方々のおかげで、少しずつ前に進むことができました。

実際に住んでみると、たくさんの方がいました。地域にはそれぞれの暮らしがあり、歴史があり、人の想いがあります。日々の会話や地域の行事に参加する中で、八頭町という場所の奥深さや、人と人との繋がりの温かさを少しずつ知っていく時間でもありました。協力隊としての活動では、高校生へのスポーツ支援や地域での健康・農業活動など、様々な形で人と関わる機会をいただきました。高校生達と過ごす時間は、私自身にとっても多くの学びがありました。

また地域の方々や体や健康についてお話しする機会もありました。

り、そのひとつひとつの関わりが、八頭町で生きていく実感に繋がっていきました。正解を求めなくても、まず動き、関わり、話を聞くこと。その積み重ねが信頼に繋がることを、この町で教わったように思います。協力隊としての任期は終わりますが、これからも八頭町に住み、この町と関わり続けていきます。3年間、本当にありがとうございました。これからも八頭町で暮らす1人の住民として、この町の魅力や繋がりを大切にしながら歩んでいきたいと思えます。

岡田悠作



八頭高でのケア



活動報告会（記念撮影）



活動報告会の様子

## 雪がとけたと思ったら

この冬、八頭町に来て一番と言っているほどの大雪を経験し、この雪はいつまで残るのだろうかとため息をついたのも束の間。研修を受けさせていただいている梨園では晴れ間を見つけては剪定、剪定の毎日でした。ただ、剪定作業と言えども当然、剪定後の切りくずが出てきます。無計画に切り散らかしたままにしているのは作業性が落ちてしまいますし、何より足元の悪さはケガの元。ある程度切り進んでは片付け、梨の木のみならず園内も「整姿」していきます。

剪定後の枝の活用は各家庭それぞれで、肌寒さの残る園内で暖を取るために燃やしたり、薪炊きのお風呂の焚き付けにしたりと活用されています。

剪定が終われば分配、摘果、袋かけ、そして収穫まで。今年の気候とにらめっこしながらの日々がまた始まるので、頑張っていきたいです。渡辺彌龍

2月は前月からの残雪に更に雪が降り重なり、思い返せば雪の印象しかない月でした。学生時代に鳥取市内で過ごした経験がありますが、当時は暖冬だったこともあり、この度の八頭の冬に面喰ってしまいました。「昔の方が雪は…」とよく聞

近づく春に私も暖気しつつ…



ハウスをかける前の清掃



すっきりした梨の木

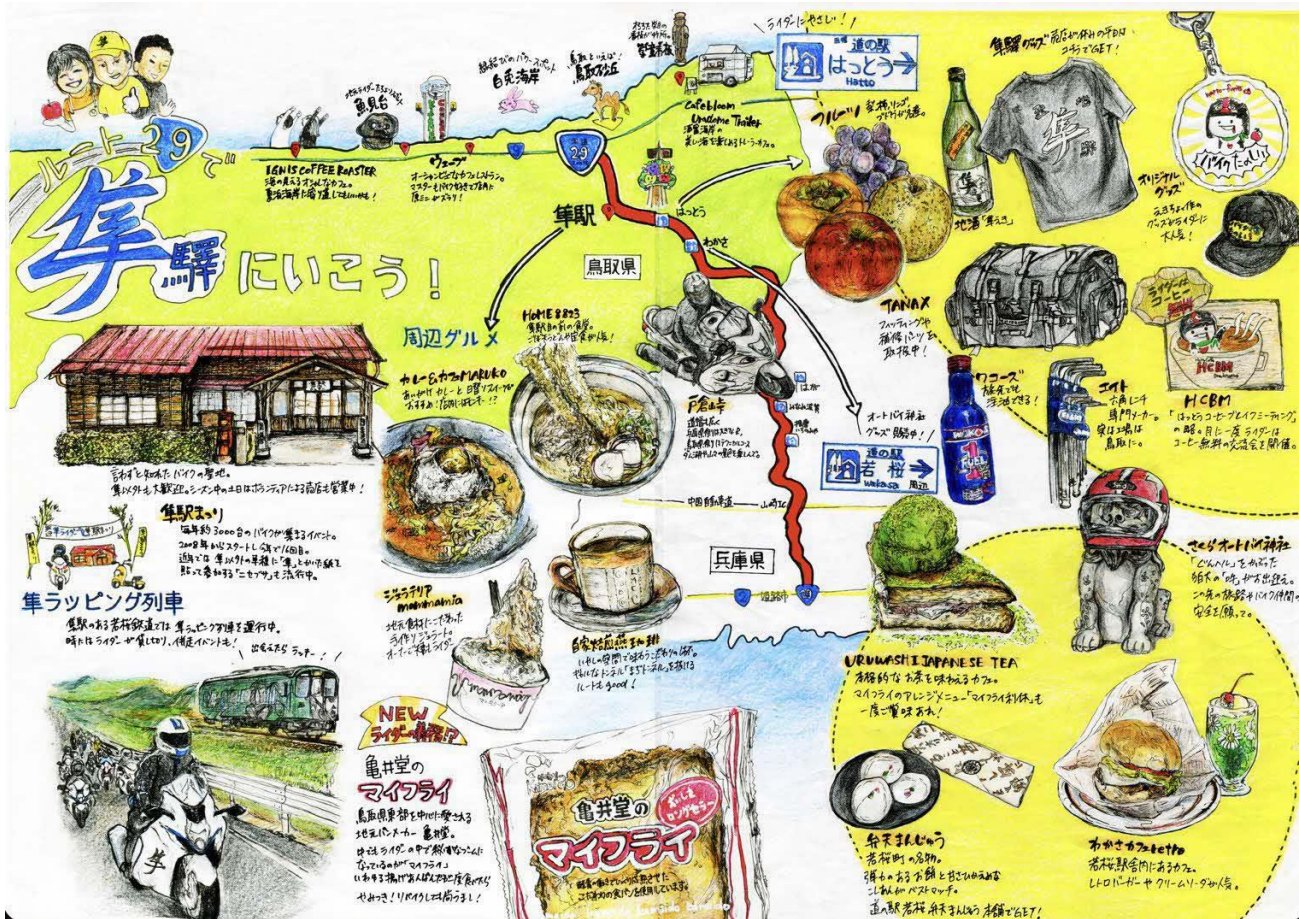


※ガチャガチャツーリング

→鳥取や八頭に関するツーリングのミッションの絵札が出てくるガチャガチャのこと。

谷内口瑞月

くのでこれでびっくりしてはまだまだです。2月も後半になると雪も溶け今年初のHCBM(はっとうコーヒーブレイクミーティング)とバイクで集まるイベント・機会も増え、私もオンシーンへとスイッチが入ります。3月には大阪モーターサイクルショーというバイク関係の業者や団体が集う大規模な展示会に道の駅はっとう、八頭町観光協会と共に出展。私はライダー向けのイラストマップの配布やガチャガチャツーリング※で八頭町をPRしてきました。多くのライダーさんに八頭町へ来ていただけたら、地域の皆様に負けないくらいおもてなししていきたいです。



ライダー向けのツーリングマップ (大阪モーターサイクルショーでの配布のほか、インターネットからもダウンロード可能)

**担当課より** 卒業し新たなステージで活動する隊員がいる一方で、継続となる隊員は新年度という新たなスタートを迎えます。立場は変わる方もいますが、共に八頭町を盛り上げていく存在です。現役隊員・卒業隊員に対しても地域の皆様から変わらぬ暖かいご支援を引き続きよろしくお願いたします (一同)

八頭町役場ホームページからカラーでご覧いただけます。